

『安心して働き・暮らせる三浦半島』を目指し政策・制度要求と提言を提出

～10月16日に鎌倉市・逗子市・葉山町・三浦市・横須賀市の4市1町すべてに提出～



三浦半島地域4市1町に対して2021年度に向けた政策制度要求と提言を10月16日に各市役所・町役場を訪れ提出するとともに、意見交換を実施しました。

当日は9時からスタートし鎌倉市松尾市長、10時30分から逗子市桐ヶ谷市長、11時30分から葉山町山梨町長、14時から三浦市吉田市長、16時から横須賀市永妻副市長に「働くことを軸とした安心社会の実現」に向けて、「2021年度に向けた政策・制度要求と提言」を提出しました。



市1町への統一要求では、地域活性化策や福祉政策・防災政策など計12項目を列挙し、新規として『急傾斜地対策』『新住居表示の導入』などを新たに求めました。また、新型コロナウイルスも新規で、6項目追加しました。自治体ごとへの個別要求では、横須賀市・三浦市へは人口

三浦半島4

減に対応した

商店街活性化策や駅の改良、鎌倉市へは深沢新駅について、逗子市・葉山町には三浦半島中央道北側工区の早期着工などを求めました。

最後に要求と提言については各市町だけではなく、三浦半島4市1町で連携や協力出来ることは一緒に行い、三浦半島全体に効果が波及できるように要請をしました。

また、今年は新型コロナウイルスの影響で中止となった、



4月に三浦半島地域連合が主催・開催している『4市1町政策・制度首長懇談会』への出席の協力をお願いしました。

各自治体から12月末に回答を得る予定になっています。回答の評価を来年3月に行い、政策・制度要求と提言の実現に向けて、4月には『4市1町政策・制度首長懇談会』を行い『働くことを軸とした安心社会の実現』に繋げていきます。

